



綾西地区に調整池を利用した「せせらぎ広場」が完成しました。設置されたデッキからは水辺を観察することができます。また、初夏にはハナショウブが楽しめる予定です

# 地域の知識や教育力を活用し充実した学校教育を望む

公明党 矢部とよ子

**問** 中央教育審議会の分析結果によると、子どもがひ弱になり、将来の夢や目標を描けぬまま規範意識や学習意欲が低下しているとの報告も、家庭の教育力の低下を感じており、今こそ、大人が力を合わせ、子ども達が将来に夢を抱ける環境を整えることが急務と考える。このような中、

閉鎖的と言われてきた学校に地域住民の知識や教育力を取り入れる試みが広がっている。学校だけでは解決できない問題も多く、開かれた学校を目指して経験豊富な地域住民を積極的に迎え入れ、さらに充実した学校教育に取り組み考えはないか。

**答** 学校・家庭・地域社会は、それぞれが子どもの成長の上で大切な環境であり、お互いの機能を確立し、連携することが大切である。教育委員会では、子どもの健全な自己実現を図るため児童・生徒指導担当者会議を開催し、問題行動等の解決に向けて積極的に取り組んでいる。学校では、地域住民が気軽に学校を訪ねる「みんなの学校月間」を設定するなど開かれた学校作りを努めている。今後も地域の教育力を活用して家庭や地域社会とともに子どもを大きく育ていく機運の醸成に努めたい。(他に「広報あやせをより一層市民に親しまれる広報紙にしないか」を質問)

# 財政状況が厳しい中での 予算編成の特徴と今後は

あやせ市民会議 近藤 秀二

**問** 市民の収入や市税収入が軒並み減であり、少子・高齢化と相まって後年度負担も憂慮される中で編成された平成十五年予算は、どうしてか積極型予算であった。本予算の大きな特徴として、地方交付税の大幅減と、その代わりとしての臨時財政対策債があげられるが、当り償還は平成十五年までの期限立法であり、次年度以降はなくなる前提の中、何年で償還し、来年はどうするのか。また、今後の財政予想はどうか。次に、引き続き民間委託を推進していく考えと理解しているが、具体的なメニューはあるのか。

**答** 大変厳しい財政運営を強いら

れる中にあつても常に市民福祉の向上を目指し、積極型予算を編成した。臨時財政対策債は、三年据え置き二十年償還である。来年については景気予測等から現状での大幅な税収は期待できないが、現在、国で地方財政の改革を進めていることから、早期に税源移譲が図られるよう要望していく。民間委託は、経費の節減、行政のスリム化を進めるため、公共性、市民サービスの向上、経済性及び効率性などを重視し進めているが、平成十五年からは学校給食センターの調理業務も委託していく。(他に「行財政改革」「綾瀬中学校改築について」を質問)

# 市民と行政の協働により 更なる地域福祉の充実を

神奈川ネット 本橋 哲子

**問** 地域福祉計画は、住み慣れたまちで生き生きとその暮らしを暮らすために必要な計画である。今までの策定された個別の計画を基本に総合的に支援する計画と認識しているが、その所見は、市民参画で行うことが必須化しており、多くの市民の意見を拾い上げ行政と協働で策定していくことが重要であるが、広く市民の参加を促すために積極的にIT技術を取り入れてはどうか。また、地域の担い手の核づくりも重要であり、地域住民を結びコーディネート機能はどのようにつくっていくのか。既に地域福祉の担い手であるNPO法人や市民活動団体への支援、育成は、

**答** 地域福祉計画は、社会福祉法

# 食文化の教育の視点から 給食の民間委託の再考を

日本共産党 上田 祐子

**問** 学校給食の民間委託については教育委員会サイドとしてでなく、課長のみ参加の運営調整会議で決定されている。行革路線に基づいた経費面からの議論だけで、教育的観点からのよりよい学校給食のあり方の議論や、他市の民間委託の現状についての検討は一切見られない。また、学校や保護者の意見も聞かずに進んでいる。学校給食は、安全面だけでなく、食文化の教育の場としてどう生かすかの視点を抜かしてはならない。今後、保護者とも議論を深め、教育的観点からもう一度検討し直し、直営に戻す判断もすべきでは。

**答** 学校給食の民間委託は、市の行政改革の方針を踏まえ、教育委員会と市側の関係する部署で学校給食センター運営調整会議を組織し検討を重ねてきたものである。その結果、調理業務を民間委託にすることで教育委員会及び学校給食運営委員会に報告しているが、予算にかかわることから、教育委員会会議の中でも議論を得ている。また、民間に委託しても従来同様に学校教育活動の一環として変わりなく実施するものであり、従来の給食内容が何ら変わるものではないことを理解願いたい。(他に「タウンセンター事業の費用対効果の試算は「プラスチック」のみ週一回収集を一刻も早く」を質問)

## 議会の動き

- 2月
  - 17日 和歌山県有田市議会議員来市
  - 20日 議会全員協議会
  - 24日 議会運営委員会
- 3月
  - 3日 3月定例会本会議(初日)・議会全員協議会・議会運営委員会
  - 4日 3月定例会本会議(第2日)・議会全員協議会
  - 6日 教育福祉常任委員会
  - 7日 経済建設常任委員会
  - 10日 総務常任委員会
  - 14日 基地対策特別委員会
  - 17日 3月定例会本会議(第3日)・議会全員協議会・議会運営委員会
  - 18日 3月定例会本会議(第4日)
  - 20日 3月定例会本会議(最終日)・議会運営委員会・議会全員協議会・議会報編集委員会
- 5月
  - 6日 議員協議会
  - 9日 5月臨時会・議会運営委員会・常任委員会・特別委員会・議会全員協議会
  - 20日 議会全員協議会・議会報編集委員会



「市議会報あやせ」の第120号は、8月15日の新聞(朝刊)に折り込みます。